

第 58 回紫友まち歩き

初夏の箱根 ポーラ美術館と日帰り温泉 まち歩き

2015 年に企画した箱根のまち歩きは、箱根の噴火騒ぎで 1 年延期。今回初夏の箱根の緑を楽しみながら、ポーラ美術館で絵画鑑賞、大自然を探索遊歩道を楽しむ、バスを利用したのまち歩きです。帰りには箱根湯本の温泉の楽しみと懇親会が予定されている。

日時：2016 年 5 月 28 日(土)

集合時間：8 時 30 分

集合場所：小田急新宿駅地上改札口外

参加者：14 名

案内人：016 大熊、016 富樫

懇親会：箱根湯本 箱根湯寮

懇親会参加者：14 名

■まち歩き行程

新宿発 ロマンسカー はこね 9 号 → 箱根湯本着
→ ポーラ美術館着 → ランチ レストラン・アレ
イ → ポーラ美術館鑑賞 → 遊歩道散策 → (ポー
ラ美術館発) → 箱根湯寮着 温泉入浴 → 懇親
会 → 箱根湯本発 ロマンスカーはこね 44 号 →
新宿駅着 解散

<スタート>

① 新宿発 ロマンスカー はこね 9 号

9 時に新宿を出発し、10:25 に箱根湯本に着く。

② 箱根湯本着

箱根湯本の駅は再開発されていて、10:30 過ぎに二階階改札から外に出る。



二宮在の一名は 10:30 少し前に湯本駅に着き、周囲を写真に撮る。



ポーラ美術館行きのバスが 11:00 に出るので、しばらくバス停で待つ。近くの橋から早川周辺を写真に撮る。



仙石原のポーラ美術館まで箱根の坂道を登っていく。箱根駅伝の選手は大変だなどと話す。

まち歩きの仲間が、少年期この箱根で育ったという。温泉村という名前の村があり、そこには温泉小学校があり、名前に合わせて校庭に温泉が出ていたようだ。宮ノ下の富士屋ホテルは、海外からの有名人が多く訪れた。

バスの車窓からの箱根の大自然と新緑をゆっくりと楽しむ。

③ ポーラ美術館着

終点のポーラ美術館でバスを降りる。整理係に指導され、自然の光が降り注ぐガラス張りの空間の中に入っていく。エスカレータで地階に降りる。



案内人は、箱根には美術館が多数有るが、ポーラ美術館の展示内容と建物が最も充実していると選んてくれた。

④ ランチ レストラン・アレイ

到着した時間が 12 時ちょっと前。まずランチと
の声は途中のバスの中でも多く、レストランに直
行。

レストラン・アレイは、箱根の森に面した明るい
レストラン。一部の人は、昼食は飲む時間だと思
っている。



各自勝手に飲み物、食べたいものを頼む。

モネの睡蓮の絵を模したような、色彩り豊かな料
理を頼む人。



40 分ほど各自料理を楽しむ。その後、絵画鑑賞に
向かう。

⑤ ポーラ美術館鑑賞

主なコレクションはモネ、ルノアールなどの印象
派やピカソなどの西洋絵画、日本の洋画、日本画、
ガラス工芸など 9,500 点以上。企画展として、
Modern Beauty フランスの絵画と化粧道具、ファ
ッションにみる美の現代 が開催されている。

記憶に残っているものには、以下いくつかあった。

・「レースの帽子の少女」：1891 年。ルノアールの
作品。ほほえみを浮かべる少女。

・「散歩」: 1875 年。モネの作品。日傘をさす妻 カミーユ、後ろには息子ジャンと乳母。

・「あやめの衣」: 1927 年。岡田三郎助の作品。今にも落ちそうな着物。顔が見えないことで想像がかきたてられる。



Wikipedia より

各自自由に 1 時間ほどゆっくりと鑑賞する。

⑥ 遊歩道散策

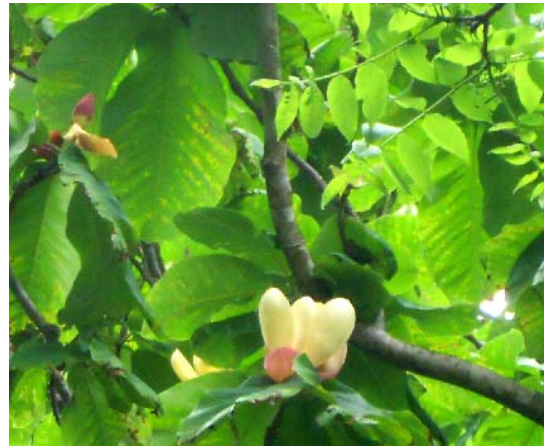
次は遊歩道の散策。ゆっくりとしたまち歩きを楽しむ。

美術館の外周には全長 670m の遊歩道が有り、ブナ、ヒメシャラが群生する。



自然度「8」の森とパンフレットに書かれている。自然度とは土地の自然性を評価する指標で、最も自然度が高い原生林などが 10～9 とし 10 段階で示すもの。自然度 8 を楽しむ。

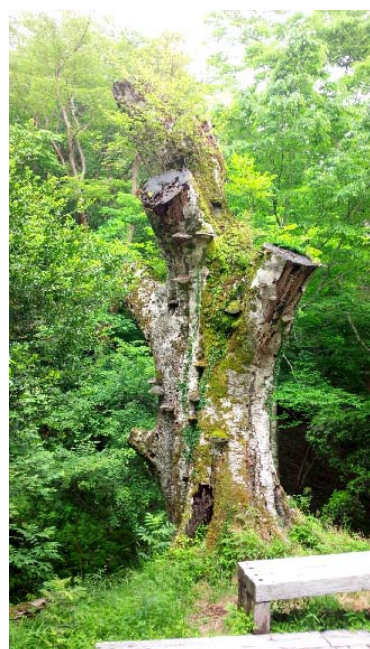
朴の木（ホオノキ）の花が咲いている。葉は、朴葉味噌などで利用されている。

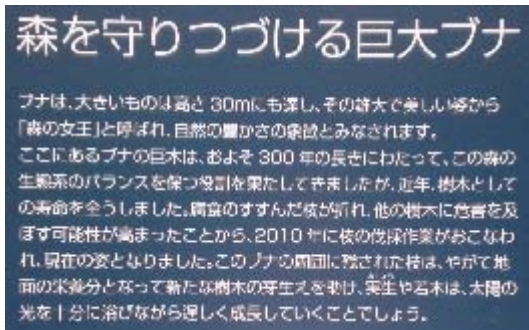


木の遊歩道を進む。

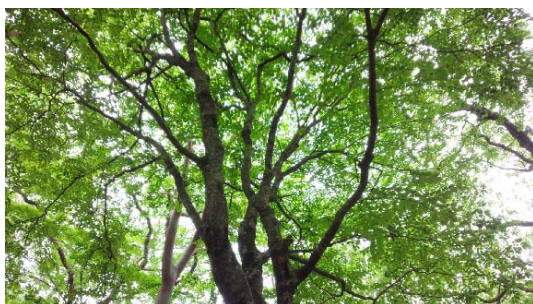


ブナ巨木跡。





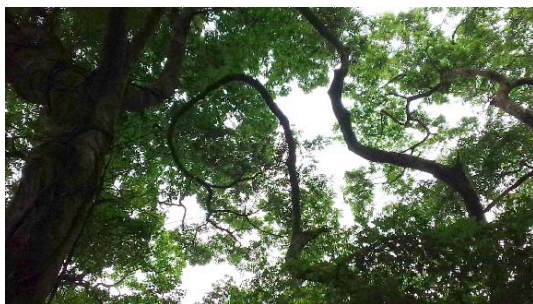
ヒメシャラやブナの群生林を鑑賞。



途中には彫刻も飾られている。



「アダムとエヴァ」坂東優 1994 年



沢にしがみつく根っこを写真に撮る。



「雪の子Ⅱ」坂東優 1999 年



この植物は？ マムシグサかもとの声あり。



所要時間 20 分のところをゆっくりゆっくりと会話をしながら自然度 8 の森を楽しむ。富士箱根伊豆国立公園内の自然を存分に楽しめた。

海外からの訪問客数は、一人差で一位中国、二位アメリカでした。



⑦ 箱根湯寮着 温泉入浴

途中の大平台駅の写真。



箱根湯本のバス停で降り、箱根湯寮行きの送迎バスに乗る。ガードをくぐると急な坂だ。身体も後ろに倒れる。



箱根湯寮は、「古民家風の里山温泉」で大浴場、露天風呂、壺風呂、ロウリュウサウナなどがあり、好きなお風呂を野外でたつぷりと満喫した。次は箱根湯寮内の懇親会場へ移動。

⑧ 懇親会

飲むグループ、食事を楽しむグループと二手に分かれて箱根名物を選んで楽しむ。やまめ酒が人気でした。1回2合で、つぎ酒をお代わりする。



楽しくお酒と会話を楽しみました。



送迎バスを待つ。



箱根湯本 19:18 発のロマンスカーはこね 44 号で帰る。新宿駅着後、解散した。